

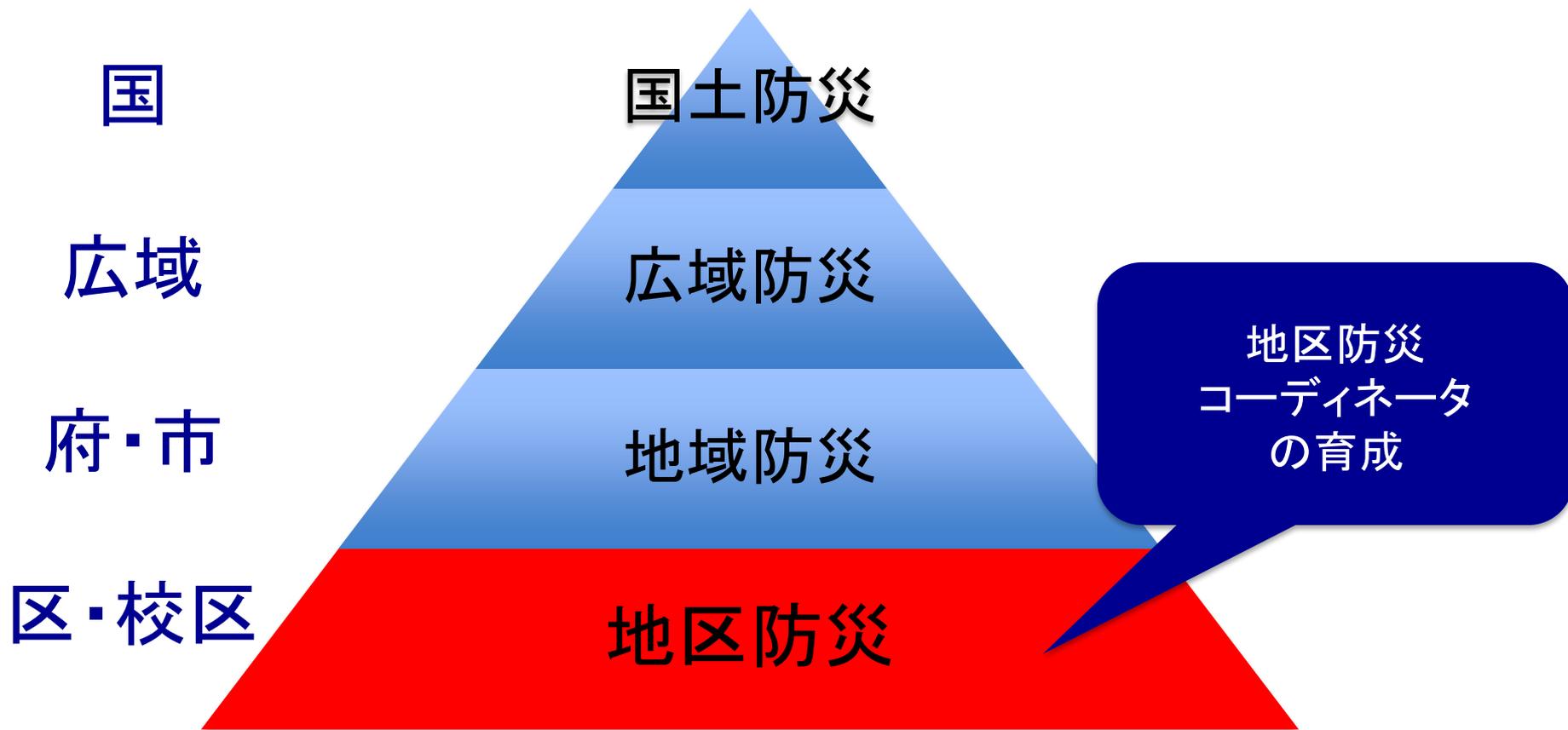
大阪市立大学 都市防災教育研究センター 設立について

大阪市立大学都市防災研究プロジェクト(ODRP)
平成27年2月

平成27年3月1日設立予定



わが国の防災施策の新展開



災害対策基本法の改正(H25) >> 地区防災計画ガイドライン(H26)

都市防災教育研究センターの目的

1. 災害および都市大阪の調査研究を通して「都市科学」研究の進展を図る。
2. 防災教育、防災研究および被災地支援を「全学的な文理融合組織」で推進する。
3. 最新の災害研究、情報技術、都市科学に基づく「災害知の社会実装」を推進する。
4. 自助・共助による都市防災の仕組みとして「コミュニティ防災システム」を構築し、その教育研究拠点を形成する。

他大学の事例

防災に関する学術研究機関 81機関（東日本大震災以後19機関）



名古屋大学減災連携研究センター
2010年設立。社会連携部門と研究連携部門を核として、社会連携推進会議や学内部局と連携し、減災課題の研究、普及、啓発活動を行っている。教職員76名を擁する。



徳島大学環境防災研究センター
2004年設立。防災と環境の問題を合理的に解決するため、理・工・人文・社会科学・医薬分野が連携している。地域性の強い課題の解決のため支援を行う。教職員38名を擁する。



関西大学社会安全学部
2010年設立。安全・安心な社会の創造に寄与する理論・政策研究の推進と、人材育成を基本目的としている。



京都大学防災研究所
1951年設立。4グループ内に、5研究部門、6センターを配置し、災害のメカニズムから被害低減までをカバーし、教職員125名を擁する。



兵庫県立大学防災教育センター
2011年設立。兵庫県は阪神・淡路大震災の経験から得られた知見と教訓を蓄積しており、防災に関する情報や対応策を幅広く次世代へ継承するための本センターを設立した。



神戸大学都市安全研究センター
1996年設立。リスクアセスメント、リスクマネジメント、リスク・コミュニケーション分野にわかれ、防災・減災の両面から住民の命を守る安全・安心な社会の実現を目的としている。教職員24名を擁する。

都市大阪における災害と対策

2013/9/13/MORI



■デルタ地域に発達した大都市

- ゼロメートル地域に138万人が居住
- 避難場所としての高台の不足
- 南海トラフ巨大地震による死者最大13万人

■地理的脆弱性

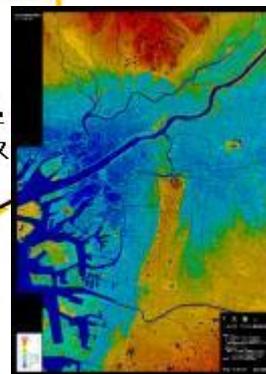
- ゼロメートル地域居住人口(国内2位)
- 木造家屋密集地域面積(国内1位)
- 地下街面積(国内1位)

■社会的脆弱性

- 高齢者・障害者・外国人など災害弱者が居住
- 災害時要援護者把握率(主要都市最低)
- 生活保護受給世帯数(国内1位)

大阪市の被災歴

- 室戸台風(1934): 49km²が水没・死者約1,000人
- ジェーン台風(1950): 56km²が水没
- 第2室戸台風(1961): 31km²が水没



自助・共助によるコミュニティ防災の仕組み

①災害リスク WebGIS と
デジタルサイネージ
の開発

②コミュニティ防災リーダー育成プログラムの開発

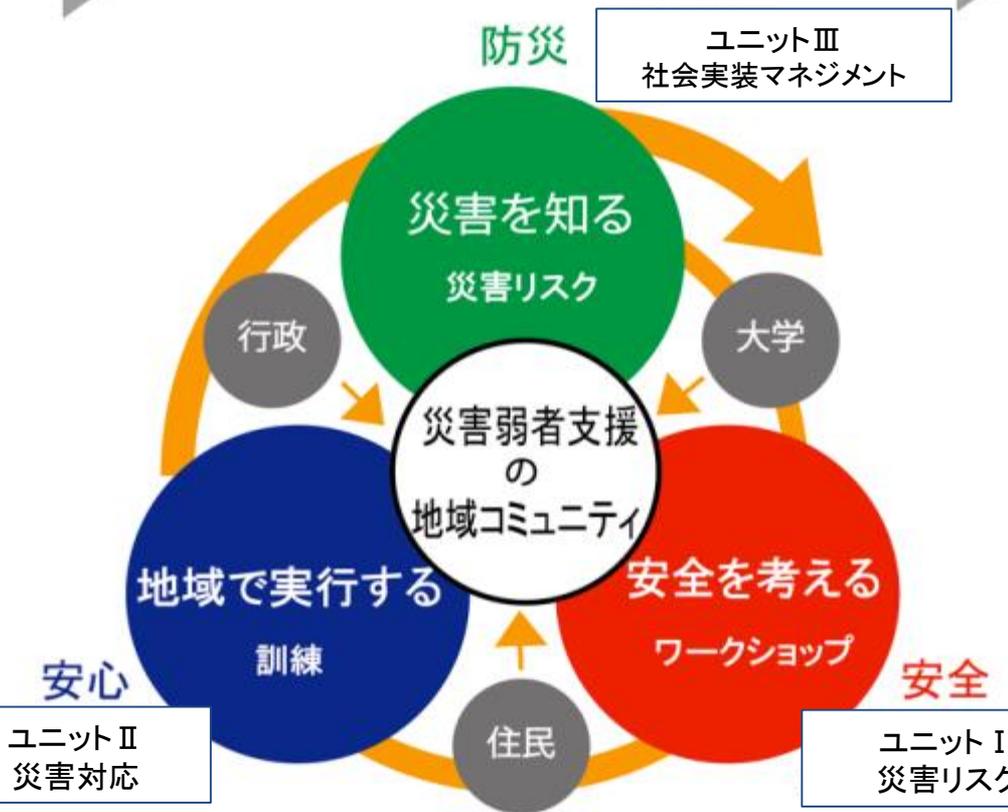
③フォーラムと出版
をとおした第三者評価



災害リスク WebGIS



暮らし・防災情報
デジタルサイネージ



地域防災フォーラム



地域防災読本

地区ごとの特性・事情や地理的特徴などを踏まえ、個別の地区防災ニーズに応じていく。

都市防災教育研究センターの活動

1. コミュニティ防災協議会

コミュニティ防災のプラットフォームとして協議会を組織し、運営する。
コミュニティの防災力を評価し、人材や拠点の認証を行う。

2. コミュニティ防災教室

地区防災計画や防災拠点整備に対応できる防災リーダーやプランナーなどの人材を育成する。
住民主体の確かな防災力を育成するための教育研修システムを開発・実践する。

3. コミュニティ防災システム

リスク評価の高精度化と災害対応の標準化にもとづく災害知を社会に実装する。

4. 防災ミュージアム

災害知を継承するため、災害データベースや防災教育教材を収集し展示する。

5. 防災イベント

フォーラム・シンポジウム・国際会議などを通して、センターの活動成果を社会に還元する。

1. コミュニティ防災協議会の活動

都市防災教育研究センター

- ① 防災研究
- ② 防災教育
- ③ 地域貢献

成果還元

コミュニティ防災協議会

- ① コミュニティ防災活動の啓蒙、情報発信
- ② [拠点]いのちラボ・[人材]コミュニティ防災リーダーの認証
- ③ ステークホルダー評価

ニーズ把握

おもな協議会メンバー(H26現在)

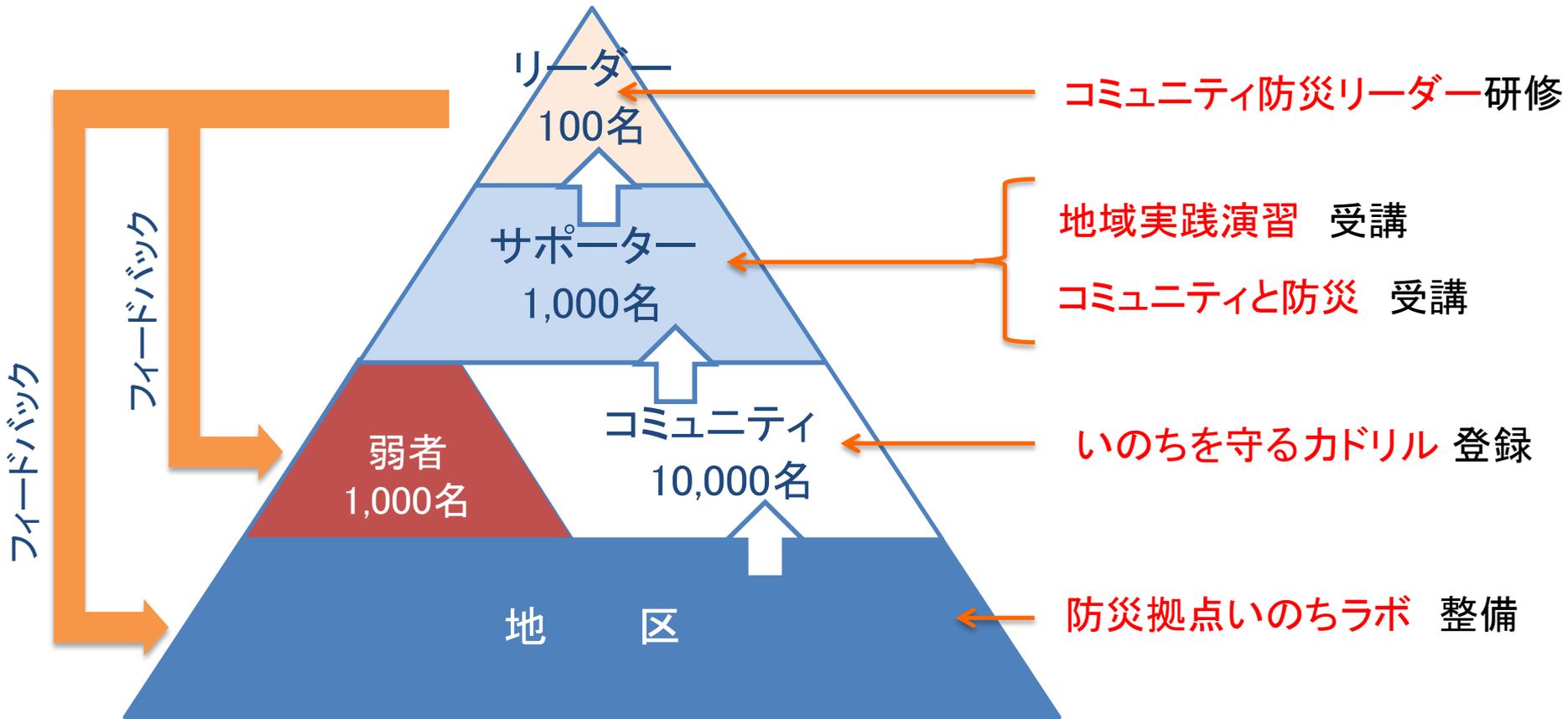
会長 宮野道雄
副会長 森一彦 幹事 生田英輔

- 住之江区、住吉区、西成区
- 大空小学校、鶴見橋中学校
- 住之江区・住吉区・西成区社会福祉協議会
- 住之江・住吉・西成消防署
- 住之江・住吉・西成警察署
- 住吉区社会福祉施設連絡会、住吉区医師会
- 大阪府危機管理室、大阪市危機管理室
- 大阪管区气象台



25年度認証
大阪市立鶴見橋中学校「子ども防災プロジェクトチーム」

2. 防災教室:コミュニティ防災リーダーの育成目標



2. 防災教室：コミュニティ防災リーダー育成プログラム

いのちを守る力 ドリル



防災力の診断項目（要約版）

わたし：①500m歩けますか。

②休憩なしで階段を昇れますか。

③栄養をバランスよく取っていますか。

④防災ホイッスルや懐中電灯を持ち歩いていますか。

⑤防災訓練をしたことがありますか。

かぞく：①家族で一緒にご飯を食べていますか。

②普段、家族の日中の居場所を知っていますか。

③防災について家族で話し合っていますか。

④災害時の集合場所を家族で決めていますか。

⑤いざというときの連絡方法を家族で決めていますか。

なかま：①近所の人にあいさつをしていますか。

つながり ②近所になじみのお店はありますか。

③近所で困っている人を見かけた時にどうしますか。

④家に友達やお客さんが来ますか。

⑤地域の祭りや行事に参加しますか。

いえ：①室内の家具が倒れないようにしていますか。

②食べ物や水を余分に用意していますか。

③家の中に身を守れそうな安全な場所がありますか。

④住宅の壁のひび割れや水漏れなどを点検していますか。

⑤家に消化器や火災報知器がありますか。

まち：①昔、地域でどんな災害があったかを知っていますか。

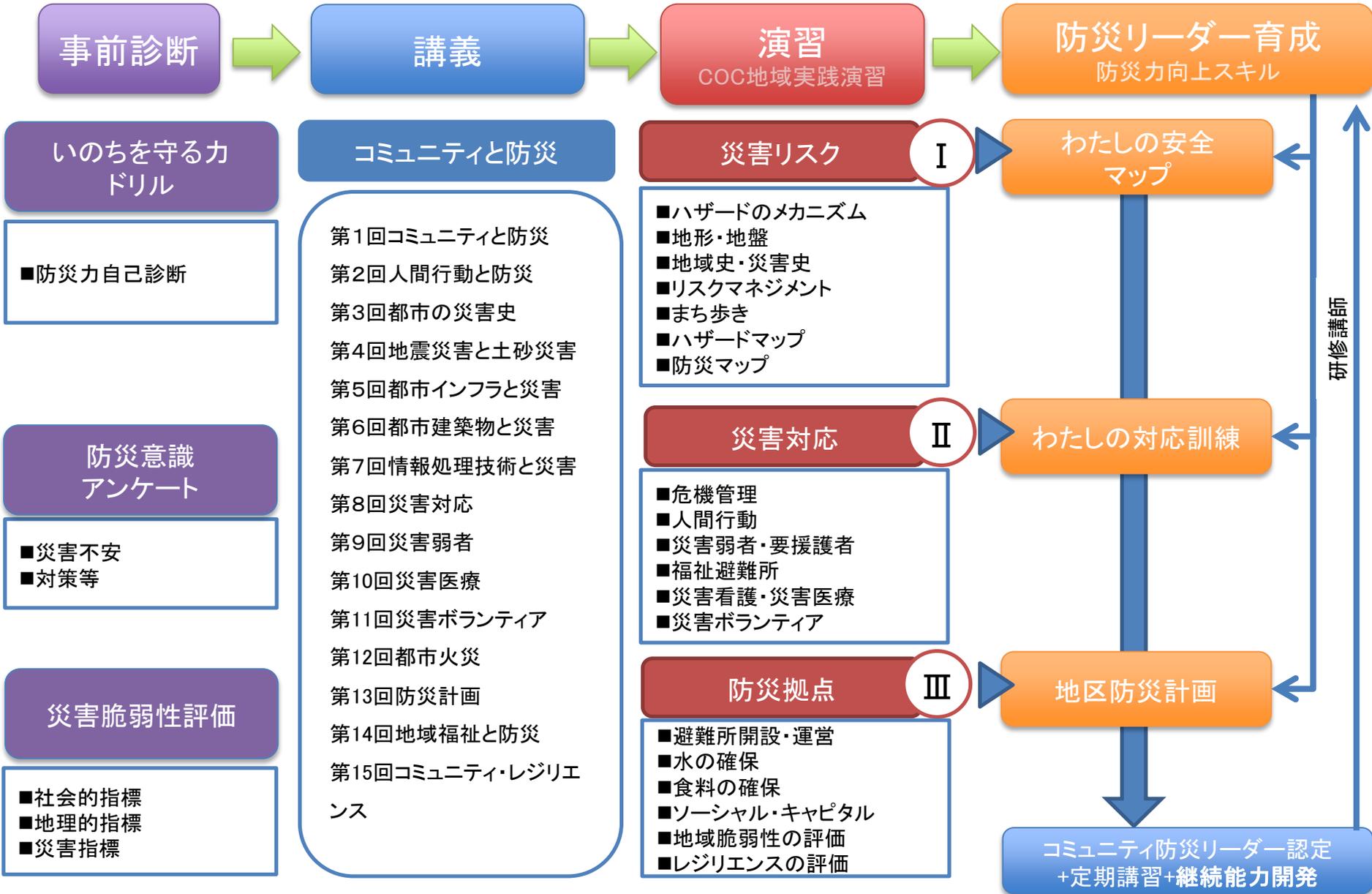
②家の周りに古い家がありますか。

③避難できる広い公園や場所が地域にありますか。

④津波避難する時に高い建物が地域にありますか。

⑤避難する時の安全な逃げ道を知っていますか。

2. 防災教室：コミュニティ防災リーダー育成プログラム



2. 防災教室：実績

- 市大COC授業（H26）
 - 地域実践演習
- 出張講義（H23-26）
 - 小学校 10回
 - 中学校 15回
 - 高等学校 2回
- 公開講座（H23-26）
 - 文化交流センター 6回
- 地域イベント（H23-26）
 - 住吉区民まつり 2回



3. コミュニティ防災システム開発

ユニットⅠ 災害リスク:リスク評価の高精度化

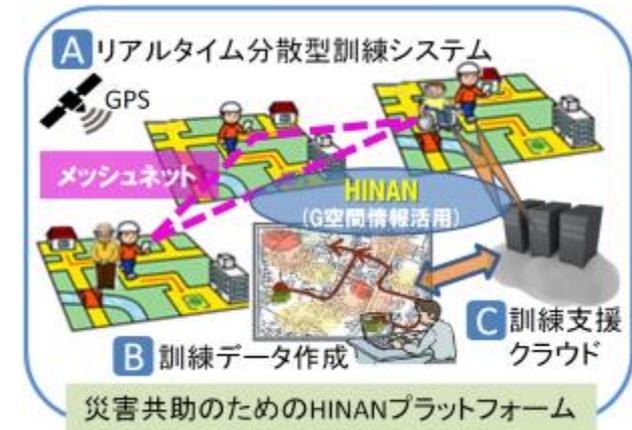
- ＞被災メカニズムの高精度解析
- ＞リスク点検インターフェース開発

ユニットⅡ 災害対応:災害対応の標準化

- ＞コミュニティ災害対応力の向上
- ＞災害時避難誘導のための社会インフラ整備

ユニットⅢ 社会実装マネジメント:災害知の社会実装

- ＞防災活動の効果測定指標開発
- ＞コミュニティ防災の啓発・認証
- ＞コミュニティ防災計画・拠点整備(大学、小中学校)



3. コミュニティ防災システム開発：いままでの実績

- 研究資金

- 市大重点研究 (H23-24 A、H25:B、H26:A)
- 科学研究費補助金 (6件 26,180千円)
- その他外部資金 (23件 24,690千円)

- 研究成果 (都市科学関連研究含む)

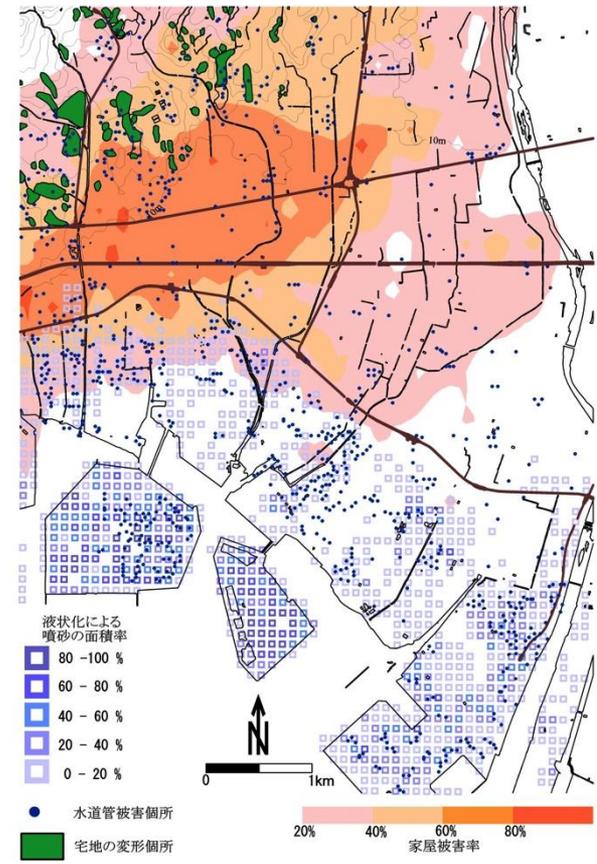
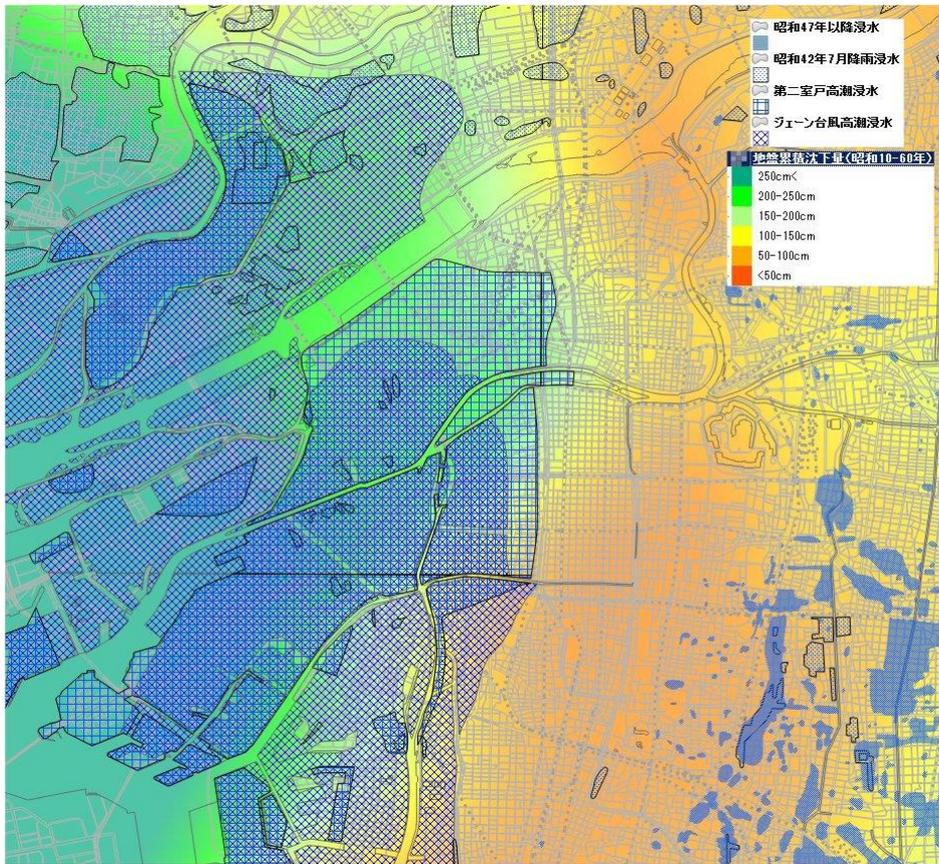
- 著書 8 編
- 学術論文 91 編
- 国際会議 24 編
- 学会発表 75 編
- 解説・総説 15 編

出版



4. 防災ミュージアム

都市大阪の災害データベースや防災教育教材を収集、
展示する。



過去の災害履歴として水害・地盤沈下・地震の被害分布の例

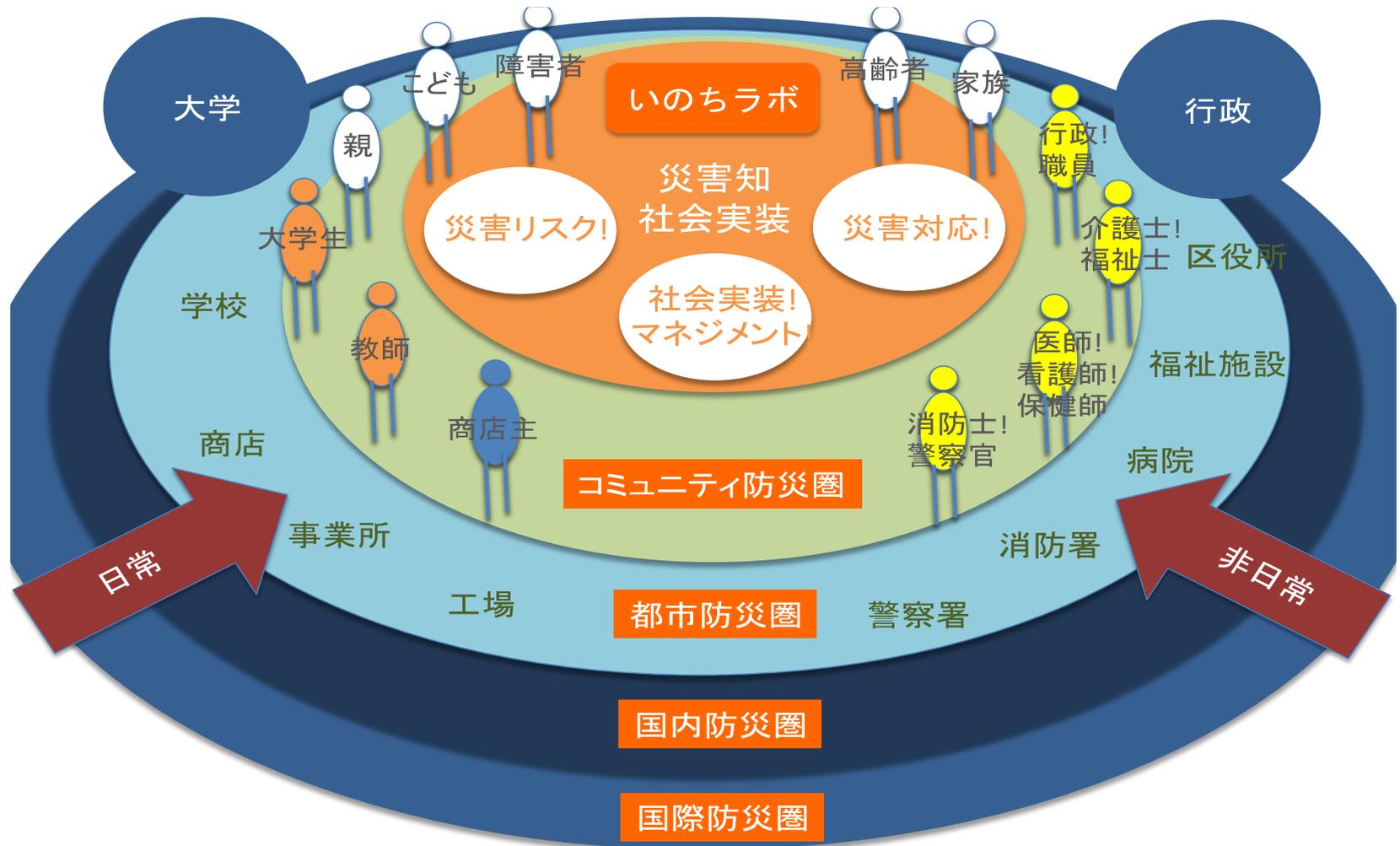
5. 防災イベント

- **シンポジウム(年1回)**
 - 都市防災に関わる研究シンポジウム
- **フォーラム(年1回)**
 - コミュニティ防災に関わる知見を地域社会に還元
 - 基調講演、年次報告、パネルディスカッション、コミュニティ劇団など
 - H23、H24、H25、キックオフフォーラム計4回
- **出張講義、公開講座、イベント**
 - 小中学校、市民/専門家向け講座、区民まつり等

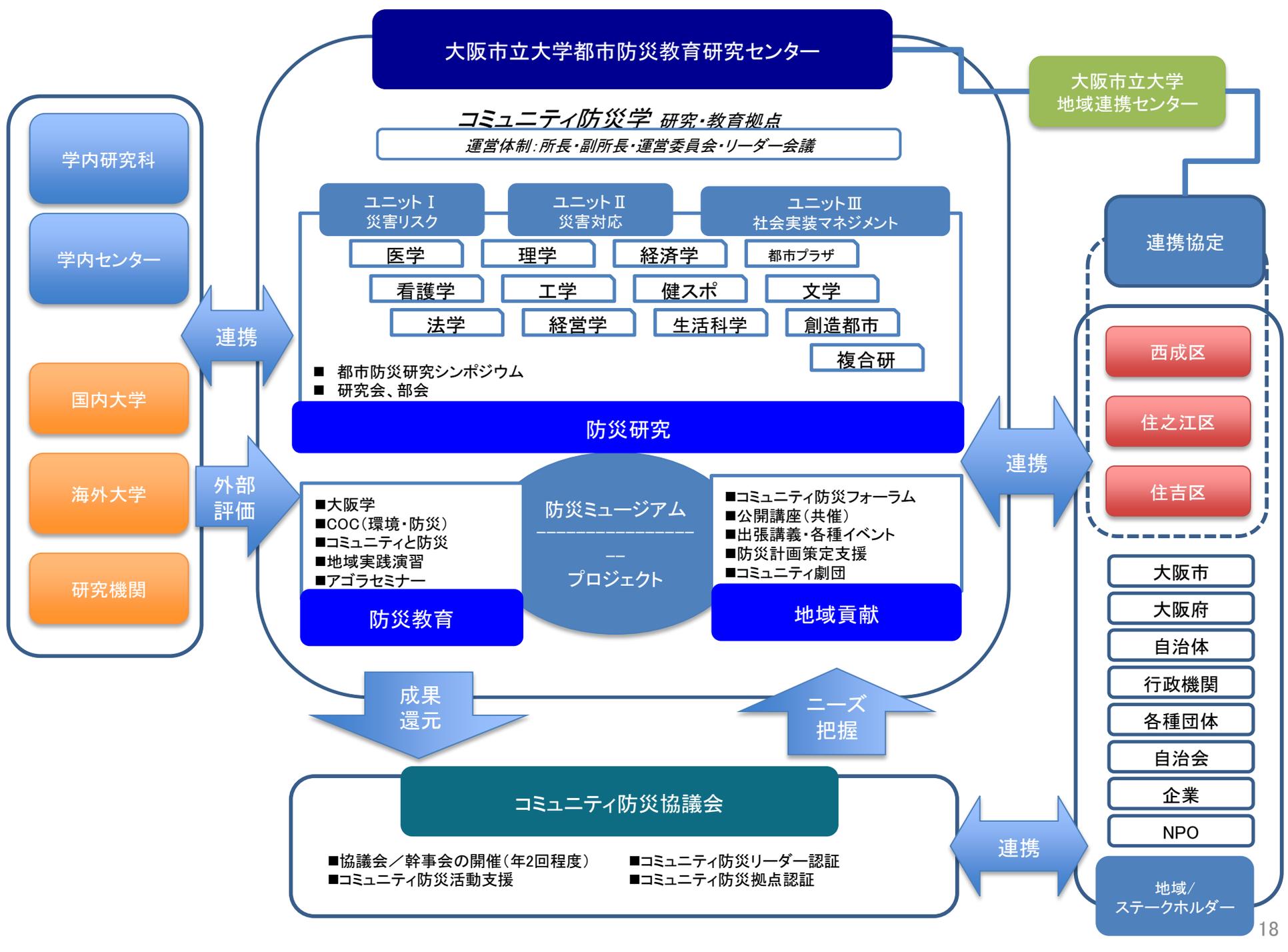


南部6区:住之江・住吉・西成+阿倍野・東住吉・平野にて展開

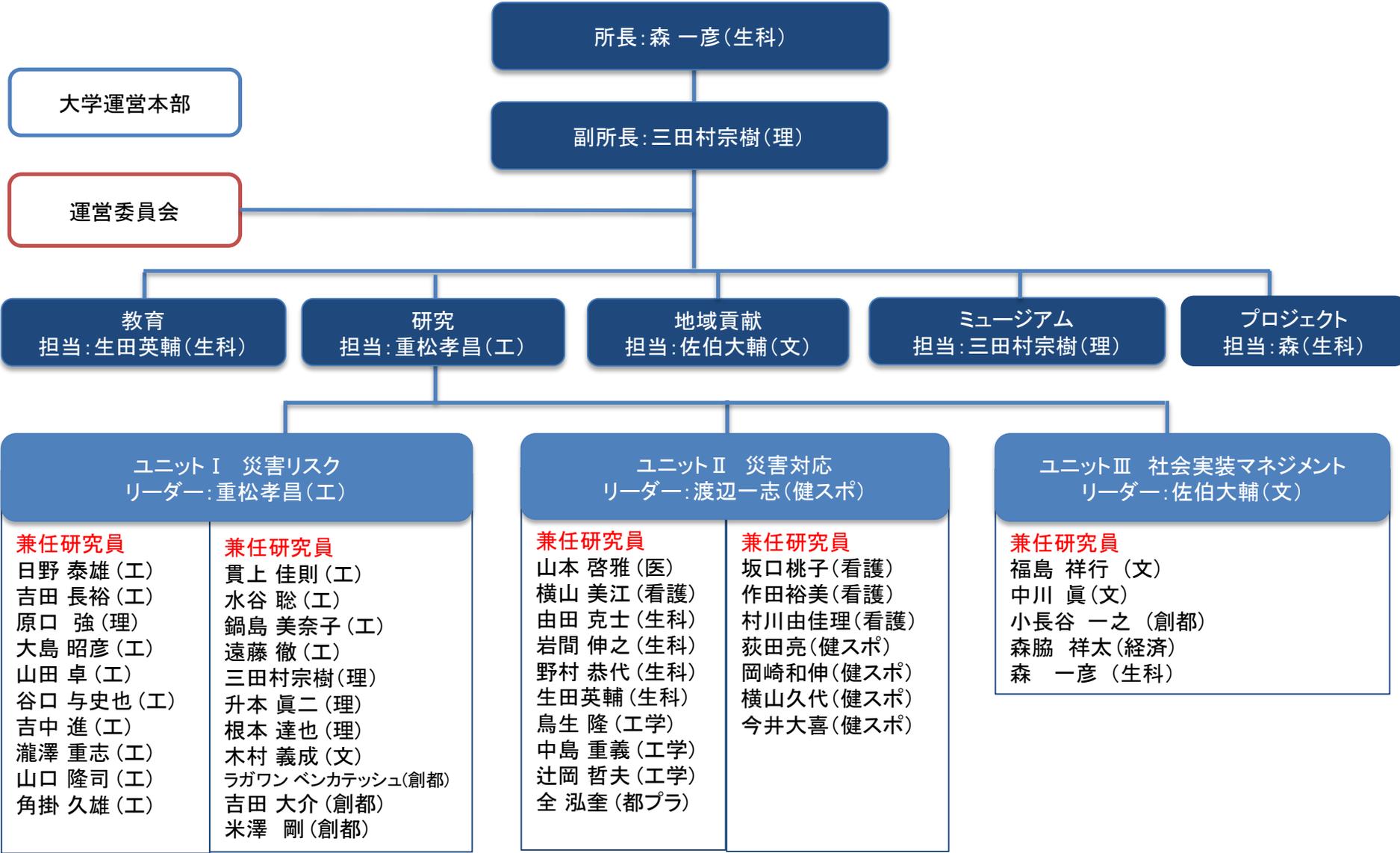
コミュニティ防災システム



災害知の社会実装にむけたコミュニティ防災学



大阪市立大学都市防災教育研究センター組織図(案)



コミュニティ防災協議会組織図(案)

